

平成25年度9月補正予算

一般会計補正予算額……16億7,640万円(補正後予算額280億6,044万円)

【歳入】

●国庫支出金	3億5,062万円
●県支出金	6,260万円
●財産収入	2,967万円
●寄附金	590万円
●繰越金	7,325万円
●諸収入	6万円
●市債	11億5,430万円

【歳出】

●議会費	▲1,259万円
●総務費	1,907万円
●民生費	▲1,675万円
●衛生費	▲1,058万円
●農林水産業費	240万円
●商工費	▲228万円
●土木費	9,528万円
●教育費	16億185万円

主な内容

人件費を各費目にわたり補正	▲2億5,497万円
【総務費】 防災行政無線デジタル化工事	4,925万円
非常用対策備品購入費等	368万円
災害対策コーディネーター養成講座業務委託	49万円
【民生費】 地域密着型サービス施設等整備補助金	3,000万円
茂原市子ども・子育て支援事業計画委託等	349万円
【衛生費】 保健センター屋上防水改修工事	1,607万円
太陽光発電設備設置補助金	137万円
【農林水産業費】 農地基本台帳地図情報整備	331万円
千葉県農地・水保全管理支払交付金	143万円
【商工費】 東部台文化会館防音扉改修工事等	241万円
茂原市観光ガイドブック作成	90万円

【土木費】 道路橋梁維持補修工事	2,211万円
道路排水整備工事	1,020万円
道路改良事業	1,333万円
交通安全施設整備工事等	1,324万円
排水整備工事	1,050万円
保安上危険な建築物等実態調査業務委託事業(緊急雇用創出事業)	2,872万円
都市公園等維持補修事業	1,149万円
【教育費】 小・中学校、幼稚園補修工事等	1億310万円
小・中学校施設整備	15億3,826万円
(二宮小・本納小・中の島小・茂原小・早野中・富士見中学校耐震工事等)	
本納・鶴枝公民館トイレ改修	142万円
市民体育館補修	348万円

※1万円単位で端数処理しています。

特別会計補正予算額……1億6,325万円

○国民健康保険事業会計	1億1,161万円
○下水道事業会計	▲216万円
○農業集落排水事業会計	▲36万円
○介護保険事業会計	5,155万円
○後期高齢者医療事業会計	261万円

お問い合わせは、
市財政課(4階)
☎(20)1517、FAX(20)1603へ。

2020年のオリンピック開催地が東京に決まりました。私もブエノスアイレスからの中継を見て、喜んだうちの一人ですが、東京都知事の猪瀬氏の顔を見るたび、複雑な思いが心をよぎりました。なぜなら、私が市長になる前でしたが、彼が茂原に来て講演をした際に、茂原市の借金の多さにびっくりし、財政をこのまま放置すると「第2の夕張」になると言ったことがあったからです。米

国デトロイト市の財政破綻の記事が7月20日付けの日本経済新聞に載りましたが、デトロイト市は財政難が響き、市民サービスが低下し、かつて110万人の人口が現在は70万人に縮小したとのこと。外国のこととはいえ、対岸の火事ではなく、市政を預かる者として、将来にわたって安定的な行政サービスを提供できる行政

政基盤の確立の必要性を再認識しているところです。国が定める自治体の財政健全化を判断する指標は4つあり、

「第2の夕張」になると言ったことがあったから。米デトロイト市の財政破綻の記事が7月20日付けの日本経済新聞に載りましたが、デトロイト市は財政難が響き、市民サービスが低下し、かつて110万人の人口が現在は70万人に縮小したとのこと。外国のこととはいえ、対岸の火事ではなく、市政を預かる者として、将来にわたって安定的な行政サービスを提供できる行政

政基盤の確立の必要性を再認識しているところです。国が定める自治体の財政健全化を判断する指標は4つあり、

「第2の夕張」になると言ったことがあったから。米デトロイト市の財政破綻の記事が7月20日付けの日本経済新聞に載りましたが、デトロイト市は財政難が響き、市民サービスが低下し、かつて110万人の人口が現在は70万人に縮小したとのこと。外国のこととはいえ、対岸の火事ではなく、市政を預かる者として、将来にわたって安定的な行政サービスを提供できる行政

市長が行く

財政健全化について

茂原市長 田中豊彦



ここのところ改善してこれたのは、市民の皆様を始め、関係者のご理解・ご協力のもと、茂原市にとって最大の懸案事項であった土地開発公社の借金問題の解決や、給食公社の解散、ひめはるの里や広域で運営している温水プールの民間貸付、長生病院の黒字化等の課題処理など、の行財政改革を着実に実行して

きだからに他なりません。しかしまだ623億円もの借金があることは事実で、気の抜けない状況に変わりはありません。市民の皆様からの多種多様のご要望に、必ずしも応えられないものどかしさを常に感じております。だからこそ「入るを量りて出ざるを制す」をモットーに、雇用の確保や自主財源となる税収の拡大を図るよう今後も努力してまいります。

国の借金が1000兆円を超える中、地方交付税だけに頼ることなく、自主自立の財政運営という大きな目標にむけ、今後も戦ってまいります。市民の皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。